



市民グループによって造られていくトンボ池



自然観察会も開催されている



森の素材を活用してカブトムシを飼育

DATA・BOARD ⑫

- ①愛知県名古屋市天白区菅田3丁目・山根町
- ②面積：200,000㎡、遊歩道5コース：0.6～2.0km
- ③名古屋市営地下鉄桜通線野並駅から徒歩約20分、または野並駅からバス約5分・天白町菅田下車、野並駅からバス約5分境根下車
- ④東山動植物園、有松(歴史的街並み保存地区)、戸笠公園、天白川緑道ほか
- ⑤自然観察会など



12 あい おい やま 相生山緑地「オアシスの森」



名古屋市天白区には、現在では貴重な存在となった自然樹林地が残されていたが、かつての農用林としての役割がなくなり、人の手が入らなくなったことから良好な雑木林の状態を保てなくなっていた。

相生山緑地「オアシスの森」の整備事業は、こうした樹林地を自然と親しめる市民の憩いの場として活用する目的で整備が進められ、民有地を市が借り受ける形で事業が行われた。整備にあたっては、市民参加による事業運営を展開することを目的に、社会教育講座の中に雑木林インストラクター養成講座を開設し、良好な雑木林に不可欠な伐採などを理解してもらいながら、ワーキンググループの育成を図った。この市民組織は、相生山緑地オアシスの森づくりの結成につながり、伐採作業やトンボ池づくりなど、さまざまな活動が展開されている。

オアシスの森には、雑木木のおそびエリアをはじめ、いきもののエリア、見はらしの丘、花の小径など設けられているほか、趣の異なる五つの散策コースが設定されており、雑木林の魅力を楽しんだり、野鳥や昆虫などの姿を間近に見ることが出来る。

市民組織による植生管理をはじめ、自然観察会や森の素材を活かした創作活動などが行われ、市民自らの行動により自然の保護や活用が定着している。また、オアシスの森の成功を契機に、近隣の緑地でも同様の取り組みが展開されるようになった。